



西尾いきものふれあいの里だより

5月号

2025.5.1 発行

さとやま

5月の里といきもの



今年の4月は、前半肌寒い日がありましたが、下旬には夏日に迫る気温の日もありました。とはいえ、時々上空に大陸から真冬並みの寒気が入って来ることがあり、大気が不安定で、雷雨や強風など荒れた天気になることもありました。5月にはさらに気温が上がり、夏のような暑さになることもありそうです。

この時期里の林縁で、写真のような風景が見られます。付近の葉が、同じような角度で開き、まるでシンクロナイズドスイミングのようですね。これは、ウラジロ科に分類される多年生のシダ植物、**ウラジロ**の群生です。葉の裏が白く、これが名前の由来で、鏡餅の下に敷いたり、正月のしめ縄につけたりします。

低山地帯の谷間や川沿い、森林の縁に生育し、湿度が高く、やや陰湿な環境を好みます。ときには大群落を作ることもあります。



日本で見られる一般のシダ植物は、地面の下に地下茎があり、地上に葉を伸ばします。葉は寿命が来ると枯れて、地下茎から新たな葉が出てきます。しかしウラジロは、葉柄の先端から新しい葉が伸び、毎年2枚ずつ積み重なっていく変わった成長のしかたをします。



早春、2枚の葉の間にゼンマイの芽のような姿の葉柄が伸びて、先端が2つに分かれて新しい葉が展開していきます。地下茎でつながっているためか、そのタイミングがほぼそろっていてシンクロしているように見えます。今だけしか見られない光景をお楽しみください。

ところで、里ではウラジロを小さくしたような**コシダ**も見られます。ウラジロ科の常緑シダ植物で、暖地の乾燥した山地に群生します。

コシダは一本の主軸に沿って小葉が並ぶ一回羽状複葉で、羽片が二方向に分岐します。ちなみに、ウラジロは一回羽状複葉の小葉がさらに細かく分かれる二回羽状複葉です。毎年地下茎から新しい葉柄が出てきて数回二分枝し、翌年はもう成長しません。

こちらも葉裏が白いので、小さな鏡餅の下に敷かれたりして、利用されています。



5月はこんな生きものも見られます

里の駐車場付近では、**ヤマボウシ**や**トベラ**の木の花が、来場者を迎えてくれます。ミズキ科に分類されるヤマボウシの花の、花弁のように見える部分は、総苞片（そうぼうへん）と呼ばれる葉が変化したもので、本当の花はその中心に小さく集まっています。花芽から、だんだん成長し大きくなっていきます。

トベラ科のトベラの花は、甘い香りがします。雌雄異株で、雌株には、秋になると赤い粘着質の種子がつきます。防風・防潮に強く、海岸近くの庭木や生垣によく使われます。

センターの前では、**アメリカヒトツバタゴ**の木の花が咲きます。天然記念物のヒトツバタゴに似て、若木のうちから花をつけるため、よく植えられています。



ビオトープ上の池から、駐車場へ続く道沿いでは、**ネジキ**のかわいい釣り鐘型の花を見つけることができます。ツツジ科に分類される落葉低木で、幹や枝がねじれることから名が付けられました。

ハンノキ広場などでは、**エゴノキ**の花が見られます。エゴノキ科に分類される落葉高木で、秋には果実をつけますが、果皮にはエゴサポニンという有毒成分が含まれるためえぐいので、名が付けられました。最近温暖化のせいか、花の数が少なくなったような気がします。

中央広場の上の道などでは、ハイノキ科の落葉低木、**サワフタギ**の花が咲いています。湿った場所を好み、沢を塞ぐように花が咲くので名が付けられました。

こんな初夏の白い木の花をお楽しみください。



また足元では、トンボの里などで、波が立つように見えるシソ科の**オカタツナミソウ**が群生して咲きます。

また、樹木に絡んで咲く香りの高いスイカズラ科の**スイカズラ**の花を見つけることができます。最初は白く、後に黄色に変わるため「金銀花」とも呼ばれます。

トンボの里や万灯山エリアでは、この頃から、3本線の翅が美しい、タテハチョウ科の**コミスジ**を見かけるようになります。

こんないきものを探して、5月の里を散策してみましよう。

4月の行事紹介

「タケノコ掘りで竹林整備しよう」を4月6日(日)と13日(日)に予定しましたが、あいにくの雨で中止となりました。みなさん、楽しみにしていただけにとっても残念です。

5月の行事予定

18日(日)	棚田でお米を作ろうⅠ(田植え) ※注1【予備日:5/24】	60名	AM 9:30~11:30	当園職員
--------	----------------------------------	-----	---------------	------

内容 ~ 里山から流れ出る冷たい水を棚田に引き込み、稲の苗を手で植えます。

ぬかるんで歩きにくい棚田での作業は、苦勞の多い作業ですが

「きっと、おいしいお米ができることでしょう！」

「※注1」 棚田でお米を作ろうⅠ~Ⅲの講座は原則3回の講座のため、
2回以上受講した方に、特典として「お米」をプレゼントします。



25日(日)	野鳥のさえずりを聞いてみよう	20名	AM 9:30~11:30	高田俊洋
--------	----------------	-----	---------------	------

内容 ~ 春の里山で野鳥を観察します。

南から渡ってきた夏の小鳥のさえずりを、みなさんで聞いてみたいと思います。

美しい姿も観察できるかもしれません。

6月の行事予定

8日(日)	草木染にチャレンジ!	20名	AM 9:30~11:30	磯貝はるみ
-------	------------	-----	---------------	-------

内容 ~ 日本で昔から行われてきた草木染。

身近な草木を用いて、伝統文化に触れるとともに、植物の持つ色を楽しんでみましょう。

(材料費:300円)

22日(日)	里山の草を使って、 色々作って遊びましょう	20名	AM 9:30~11:30	河江喜久代
--------	--------------------------	-----	---------------	-------

内容 ~ 里山を歩きながら、

シロツメクサ、タンポポ、ツバキ、クズの葉などを採集して、

花冠、笛、お人形など作って遊びます。(大人の方だけの参加 大歓迎です!)

- ◇ **参加受付**は、各講座3週間前の午前8時30分から先着順に受け付け、来園、または電話受付し、お申込みは本人、もしくはその同居家族までとします。なお、申込者が**4名以下の場合**は開講しません。
- ◇ **参加申込者**は傷害保険に加入するため、小学生以上の方とします。なお、小さいお子さまをお連れいただいても構いませんが「見学扱い」とし、傷害保険の加入はありません。
- ◇ **当日の天候**により、講座の中止・延期、または講座の内容を変更する場合があります。
- ◇ 原則、**参加費は無料**ですが、講座により**材料費は実費**を申し受けます。[講師に直接払う]
- ◇ **各講座の詳細な内容**については、直接ネイチャーセンターにご確認

西尾いきものふれあいの里ネイチャーセンター

◆ところ 〒445-0031 愛知県西尾市家武町小草3番地 Tel・Fax 0563-52-0266

◆休日 毎週月曜日・祝日の翌日・年末年始 [12/28~1/4] ◆発行 西尾市環境部 環境保全課